

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)患者の発生について

- 令和8年9月5日、県内で初めて重症熱性血小板減少症候群(SFTS)患者の発生が確認されました。
- 全国的に感染者が増加している状況にあり、本件では、県内での感染が推定されますので、SFTSの感染予防を心がけていただくようお願いいたします。

<マダニによる感染症に注意しましょう>

- SFTSは、SFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染するといわれ、感染予防策としては、マダニに咬まれないようにすることが重要です。
- 森林や草地などマダニが多く生育する場所に入る場合は、長袖、長ズボンを着用する、肌の露出を出来るだけ少なくするなどマダニに咬まれないような十分な対策を講じてください。また、森林、草地などで作業をした際は、帰宅後、手・腕・脚、首回りなど、肌の露出部位や、腋などの柔らかい部位に虫刺されがないか確認してください。
- もし、刺されたような跡があった場合には、マダニに咬まれた可能性もあるので、数週間程度は体調の変化に注意してください。発熱など症状が認められた場合は、医療機関を受診し、発症前の行動(森林・草地等に出かけた日等)も医師に伝えてください。

1. 県内及び全国の発生状況

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
宮 城 県	—	—	—	—	1
全 国	118	134	122	191	129(※)

※第34週時点

2. 患者の概要

- (1) 住所地 石巻保健所管内
- (2) 年代・性別 90代 男性
- (3) 推定感染地域 石巻保健所管内
- (4) 症状 発熱、神経症状、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少
- (5) 経過
 - 8月29日 発症
 - 9月 1日 医療機関を受診
 - 9月 2日 別の医療機関を受診、入院
 - 9月 5日 県保健環境センターの行政検査の結果、陽性が確定

【参考】重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(国立健康危機管理研究機構)
<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/severe-fever-with-thrombocytopenia-syndrome/index.html>



【参考】ダニ等が媒介する感染症に注意しましょう(宮城県ホームページ)
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/danibaikai.html>



マダニによる感染症に注意！

(県内で重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の発生が報告されています。)

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは？

SFTSウイルスを持ったマダニに咬まれることにより感染するダニ媒介感染症です。マダニは森林や草地などに多く生息し、春から秋にかけて活動が活発になります。

～犬や猫からマダニを介さず直接SFTSウイルスに感染した事例もあります。～

SFTSを発症している動物（犬や猫等）に咬まれたり、血液などの体液に直接ふれることで感染することがあります。

SFTSの症状

SFTSウイルスを持ったマダニに咬まれた6日～14日後に発症します。

～主な症状～

発熱、嘔吐、下痢、腹痛など

※重症例では、死亡することもあります。

マダニに咬まれない、ペットのダニ対策をしましょう

ダニに咬まれないポイント

森林・草地などに行く前には

- 長袖、長ズボンなど肌の露出を少なくする
- 虫よけ剤を使用し、肌の出る部分や、襟、裾等に噴霧する

森林・草地などから帰ったら

- 入浴などで体を洗い流す、マダニに咬まれていないか確認する
- 脱衣後の衣類はすぐに洗濯する

ペットのダニ対策

- ダニ駆除剤の使用等について獣医師に相談する
- ペットが外から帰宅したらダニがついていないか確認する
- ダニが皮膚に食い込んでいる場合は動物病院へ



マダニに咬まれた！ 疑わしい症状が出たときは

医療機関を受診しましょう

マダニに咬まれた場合、無理に引き抜こうとせず医療機関（皮膚科など）で処置をしてもらいましょう。

マダニに咬まれた後や疑わしい症状が出た場合には、早めに医療機関を受診し、発症前の行動（森林・草地等に出かけた日付や場所、マダニに咬まれたなど）を医師に伝えてください。